

校内支援会議

相談支援部

強みを生かした支援につながる
校内支援会議のススメ

やりやすい!

やってよかった!

をめぐして、改善のポイントをまとめました



よりよい会議をめざして

いくつかの課題点を改善できるように見直しました

資料作成が大変！



資料準備の効率化

記録に時間をとられる



ホワイトボードの活用

困った感の共有で終わる



強みにスポットを！

支援は続く・・・



支援のPDCAサイクル

やりやすい!



資料準備の
効率化

支援会議
シート様
式の工夫

既存資料
の活用

支援の経
過記入欄
を追加

□支援会議シートの様式の工夫

- ・ 2種類から使いやすい方を選ぶ（シート①とシート②）

□既存資料の活用

- ・ 個別の教育支援計画・アセスメント表（実態把握表）など

□支援の経過記入欄を追加

- ・ 支援の振り返りを記入

支援会議シート① 表面

支援会議シート *取扱注意					
記入年月日 令和 年 月 日					
記入者 ()					
ふりがな 氏名		性別			
実施日時	令和 年 月 日 : ~ :	学部		学級	年 組
【参加者】					
【相談したいこと】					
例) 周囲への不適切なかかわりを楽しんでいることに対して、 どう支援すればよいか。					
【学習や生活の様子で気にかかること】			【実態把握表以外で参考となることは追記。】		
例) ・わざと相手の嫌なことをする。 ・注意されると不適切な発言をすることがある。 ・学習に集中できない。			例) ・○月○日に学年でケース会を実施。 ・保護者さんの家庭の状況を確認 ・次回の医療受診		
【主訴に対してどうなってほしいのか担任・保護者の思い等】					
例) ・不適切な行動が減る。 ・友達との良いかかわりが増える。 ・自分の気持ちを具体的に伝えることができる。					

シート①のメリット

- ・既存の資料を添えることで準備が楽



支援会議シート① 裏面

【今後の対応】 (何のために、誰が、いつ、どこで、何を、どのようにするのか)	
例) ・実態の共有→背景を探り、具体的な支援策を実施。 *本人の好きな活動を見つけ、一緒に行く。 *良い行動が見られた時にはすぐにほめる。 *教師とゆっくり過ごす時間を作る。 *自分の行動を振り返る時間を作る。 ・保護者との関係作り ・医療との連携 ・ ・ など。	
【振り返りの会についての時期】 2か月後(その間に医療相談も実施できるとよい。)(○月△日)	
<振り返りの会>	
実施日時	令和 年 月 日 : ~ :
参加者	
【対応策を実施してみてどうだったか】 (児童の変容、課題、継続していくことなど)	
例) ・好きなことに集中できる時間が増えた。 ・教師と二人の時には、落ち着いて話ができる。 ・周囲がざわざわしている時には、指示が入らないので場所を移動する。 ・医療と服薬後の学校や家庭でも様子を確認。	

シート①のメリット

- ・支援の経過の記録ができる

シート②のメリット
・情報を1枚に集約できる

支援会議シート②

実施日：2023 . . .

対象：高・**中**・小

〇年〇組：（ A ）

★本人/保護者/担任の願い

〇安心して、登校しなくなり、学校に通ってほしい。
(現在、これといった原因が分からないので、対応に迷いが生じている。)

1. 学級・学校での様子

- ・係活動・掃除等は意欲的に取り組める。
- ・休憩からの切り替えが難しい。疲れて座り込んだり活動への参加を減らしたりする。
- ・半日登校にしてからは登校が増えたが、長期休みを挟むと続かない。

2. 家族構成・生育歴・教育歴・相談歴・家庭状況など

- ・両親と年上のきょうだい。
- ・学校との連絡や相談には協力的。

3. 通院・服薬・医療面からの助言など

- ・ADHD。
- ・朝晩服薬あり。

4. 運動・身体・基本的な生活習慣・その他

- ・張り切っている時に疲れに気付かなく、後でバテてしまう。
- ・生活リズムは整っているが、学校生活を1日送る体力は現状なさそう。

5. 本人の興味/強み(指導に活かせるリソース)

友だちのお世話が好き。
ダンス、トランプが好き。ディズニー等の色々なキャラクター。

6. これまでに有効だった手立て

1日の活動内容の可視化
トークンシステム(好きなキャラのシールを連絡帳に貼る)

主訴：(担任・保護者) →担任：活動内容を調整しつつ、登校を促したい。保護者：一定期間休息させ、気持ちのリセットを図りたい。
(本人) →「学校へ行きたいけど、行きたくない」という気持ち。どうしたらいいかわからない。

今後に向けて

【支援の方針】

- ① 1週間単位で予定を確認(金曜日に担任から電話)
- ② 前向きな発言が見られるようになったら、参加できそうな行事を中心に声をかける

【学級支援(個および全体)】

- ・電話対応は担任。
- ・参加できそうな行事の過去の写真等を準備して本人に見せる。

【校内支援】

- ・2か月後の校内支援会議(事前に相談支援員との状況確認をしておく)

【家庭支援】

- ・1週間に1回程度担任とやりとりをする機会を設ける。(電話もしくは来校)

【外部連携】

- ・相談支援専門員(〇〇事業所：□□さん)と必要に応じて、情報共有をする。

【進路支援】

- ・高等部の学習について作業製品を見せるなどしながら少しずつ情報提供する。

7. 学習面

聞く・話す：後で理由を説明したり、好きなことを話したりすることができる。
読む・書く：ひらがなは大体読み書きできる。想起して書く場合は間違えることが多い。
計算・推論：1から30までの具体物を数えたり指定された数を並べたりできる。

8. 行動面

■動・多動：気になることがあると、離席したり、場の雰囲気を考えず、発言したりする。
注意・集中：興味のあることは集中してできるが、頑張りすぎて疲れてしまい、次の活動に移れない時がある。
こだわり：習慣化したことができる。やらないと気が済まなかったり別のやり方が受け入れがたかったりする。
感覚：身体に触れられることが苦手。
社会性・対人関係：相手やその時の気分によって態度が変わることがある。
コミュニケーション：友だちと積極的に関わる。素直に謝ることができる。

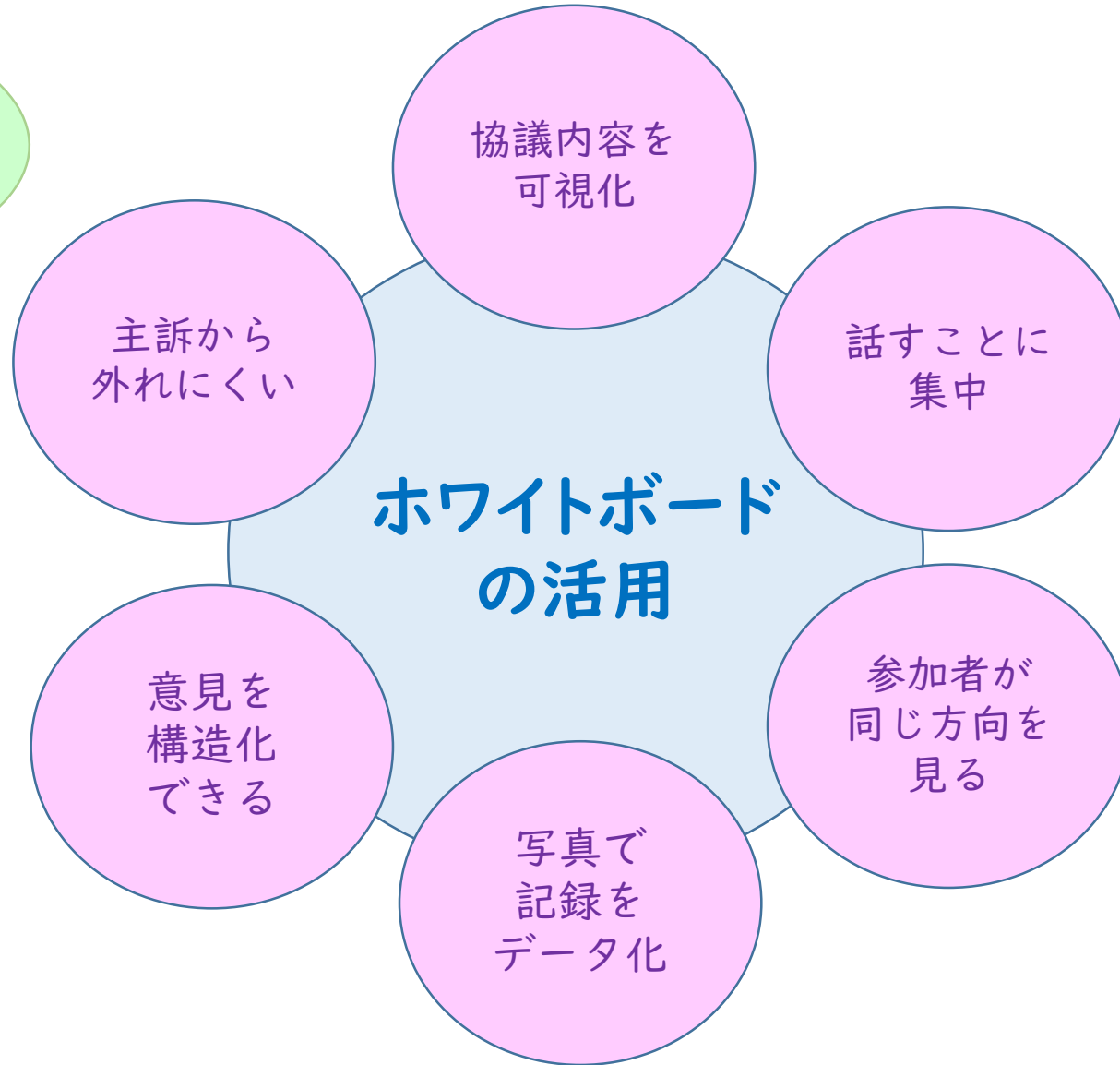
9. 検査結果

●WISC- (年 月) 全検査IQ -
→ 言語理解 , 知覚空間 , ワーキングメモリー , 処理速度
●新版K式(R☆年▲月)
→ 認知・適応 4:3, 言語・社会 4:6, 全領域 4:5

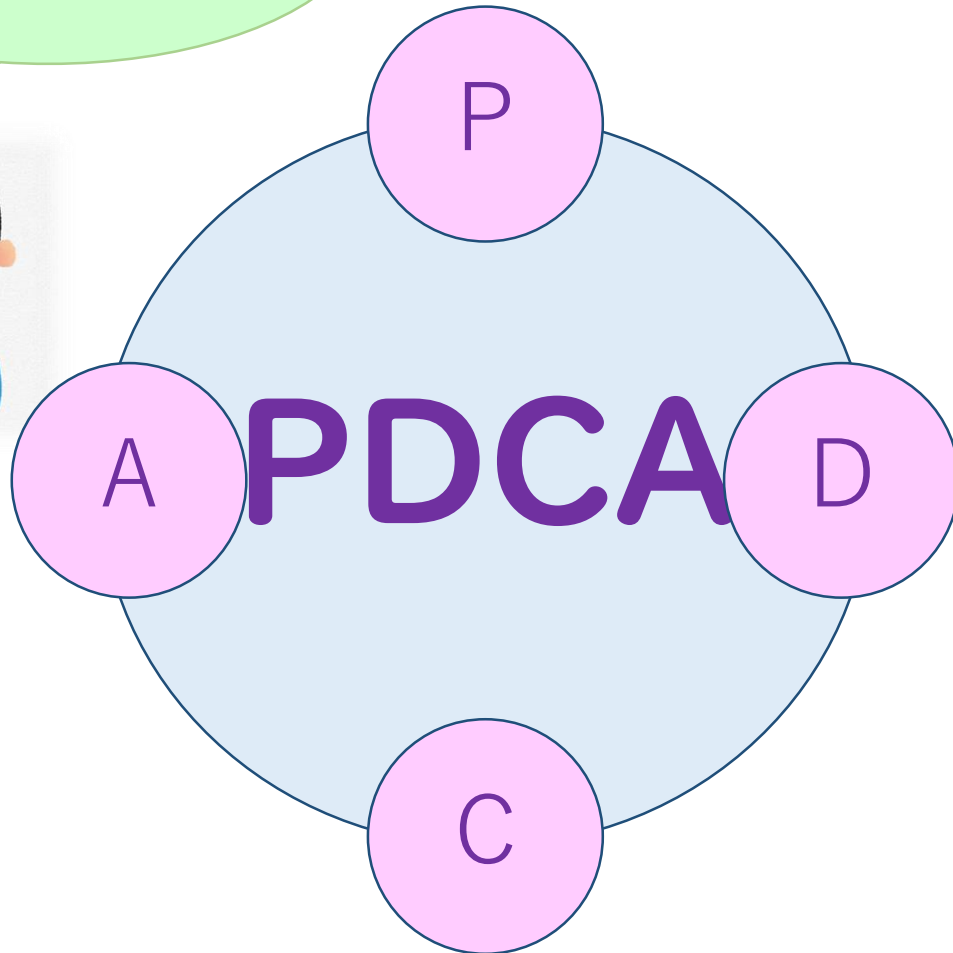
【結果から読み取れる認知特性】

・目の前に具体物を置かれると、話や説明を聞く前に操作したくなる。
・「～だけれども・・・」の思考(自制心の形成)が育ってきているが、中間的なもののとらえ方は難しい。

やりやすい!



やりやすい!



会議後の経過の
確認・見直し

- ▶Plan 支援の方向性・手だて
- ▶Do やってみよう!
- ▶Check 「振り返りの会」の設定
今の支援はうまくいっている?
(次の課題や支援の方向性の確認)
- ▶Action 次の一步を!

強みにスポットを！

やりやすい！



子どもの
強み・好きな
ことを多く
挙げる

有効だった
支援・手だて
から

強みにスポットを！

得意なこと
できている
ことを共有

ポジティブな
情報共有！

強みにスポットを！

やりやすい！



今すぐ
できそうなこと

さっそくやってみよう！
と思えるアイデアを
沢山出すポイント

強みにスポットをあてた
アイデア

教員の得意も
生かす

子どもと教員の
関係性も生かす

子どもを見る視点（強みを生かす）が変わると！

やってよかった！

子どもの変化

教員のチームワークも改善！



教員の関わり方が変わる

子どもの強みを引き出す関わり

強みを生かした支援

子どもを見る
視点が変わる

